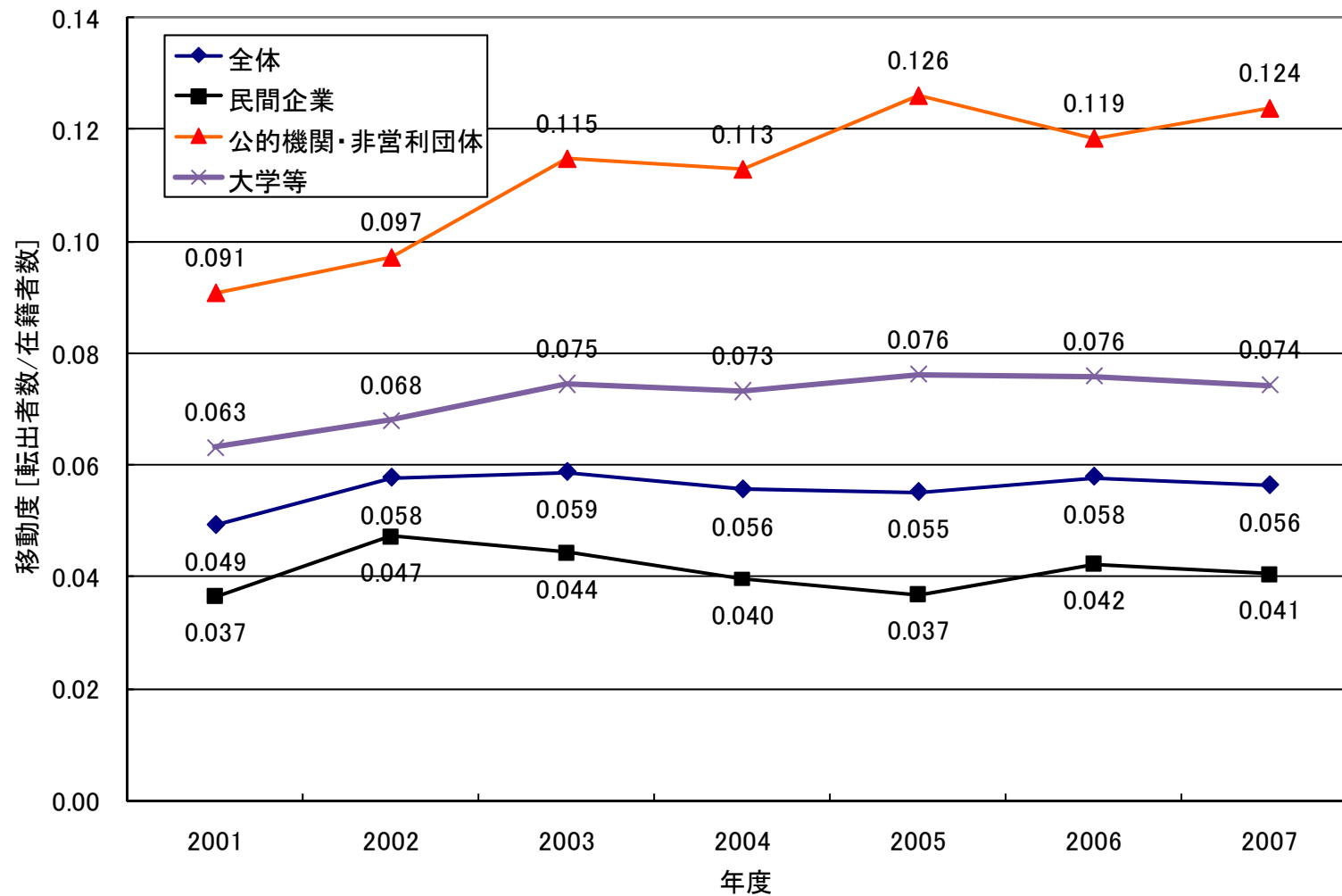
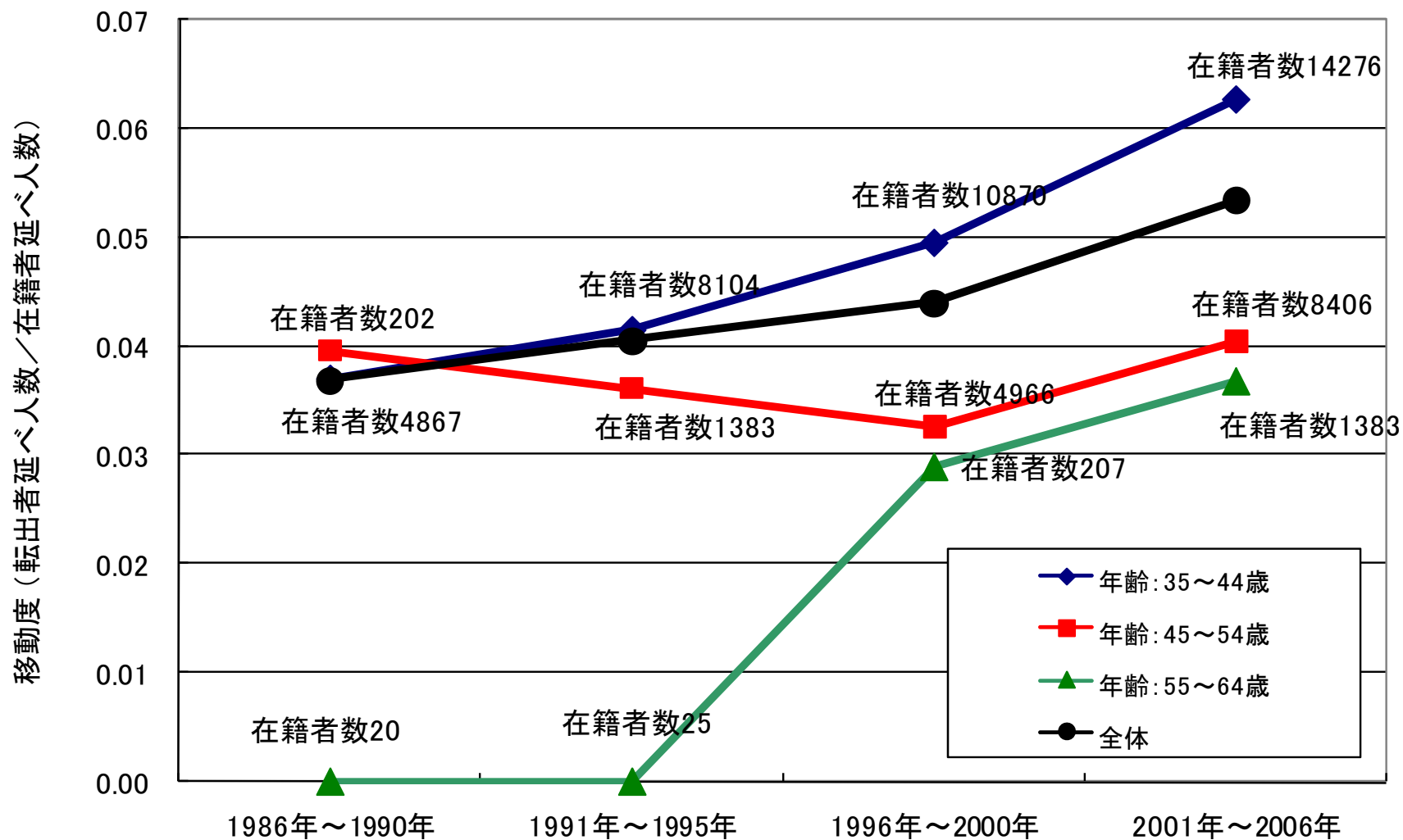


セクター別移動度の変化

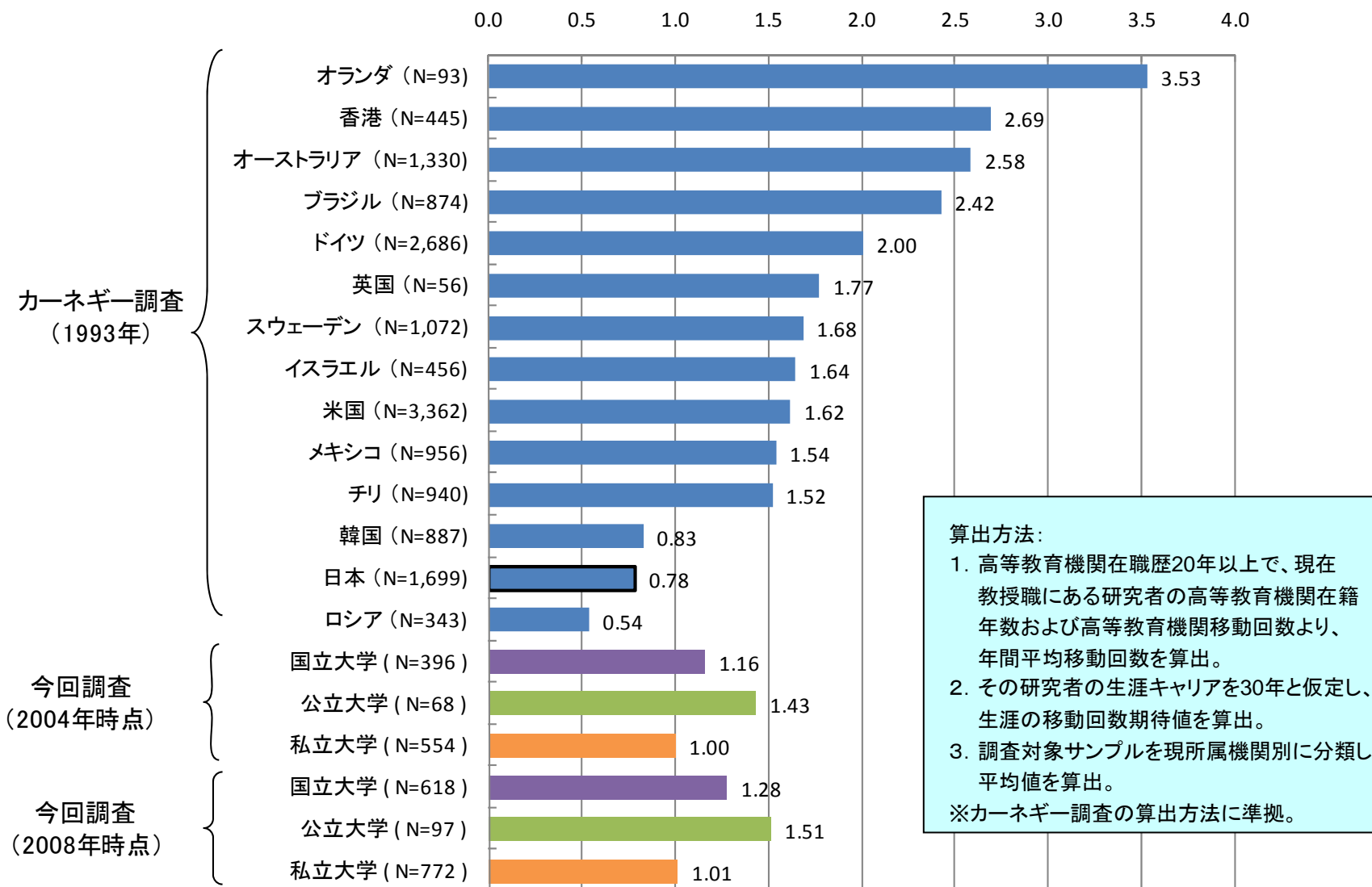


年齢層別移動度の変化

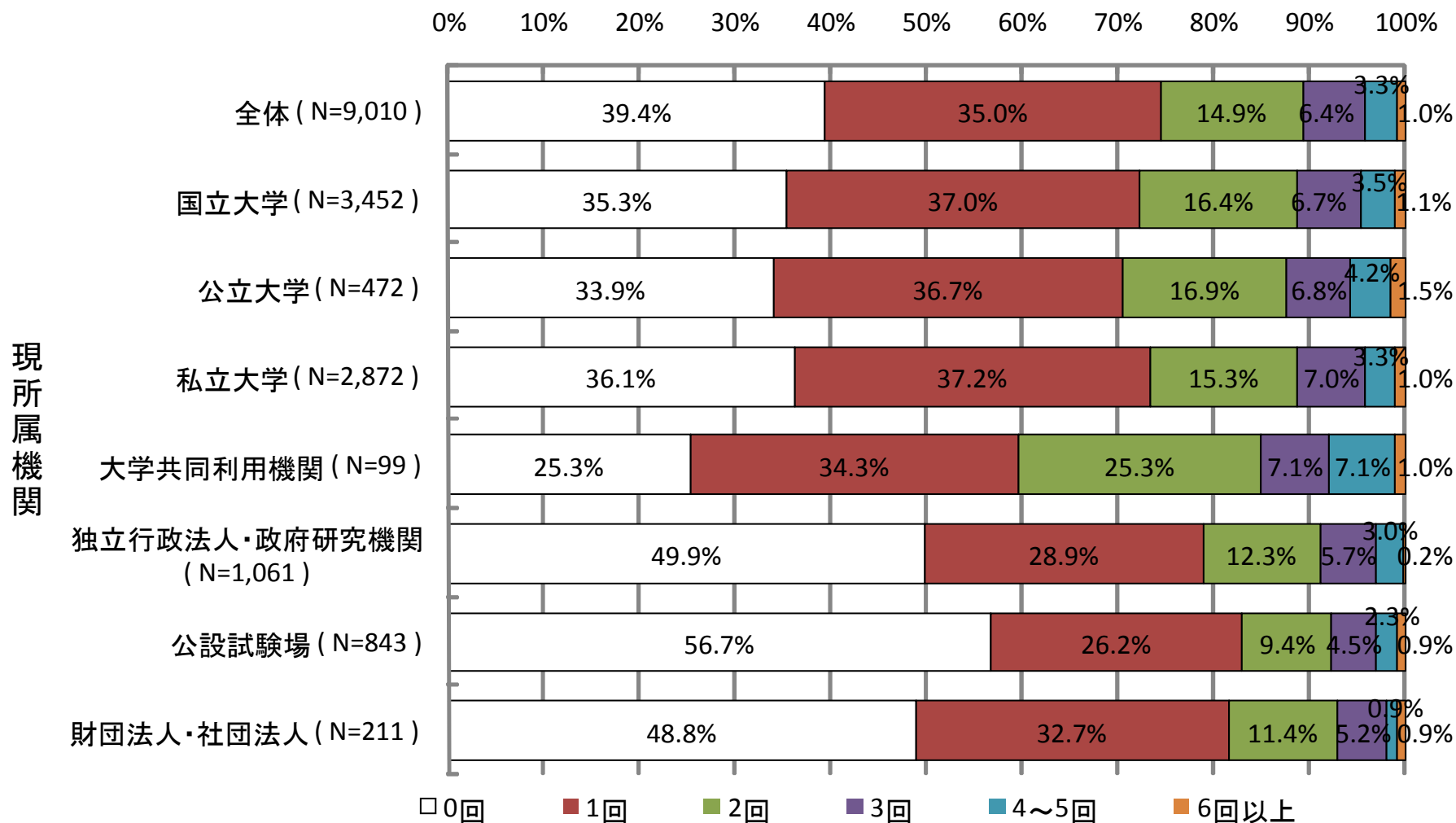


大学教授職の生涯移動回数期待値の変化

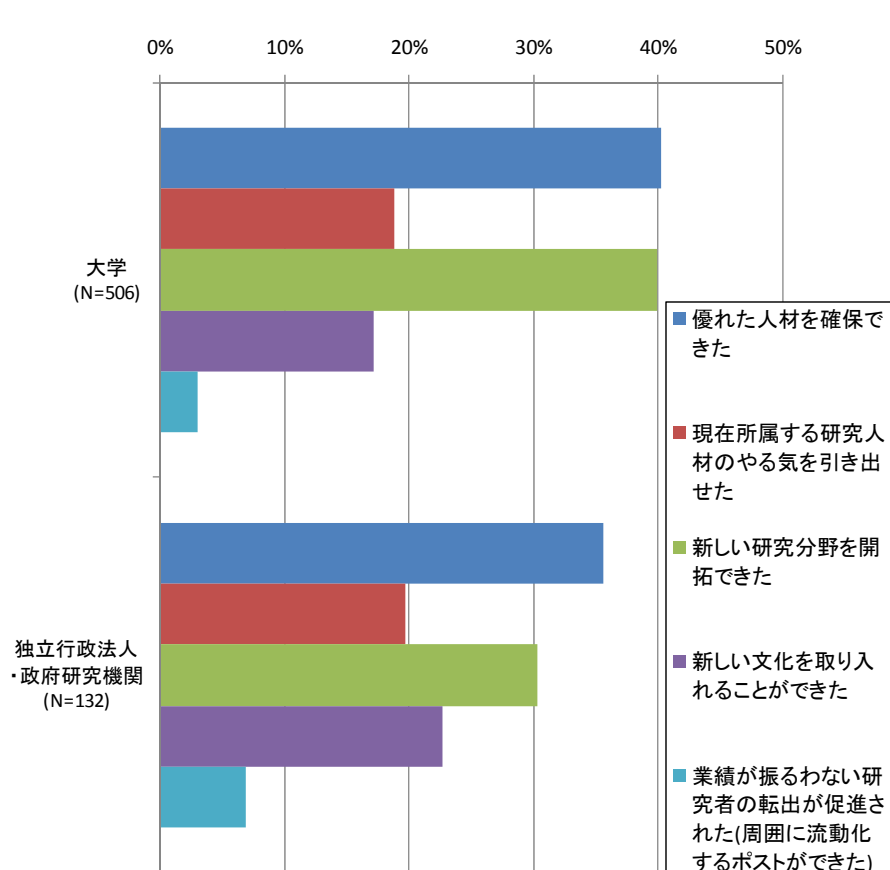
高等教育機関の生涯移動回数期待値(回)



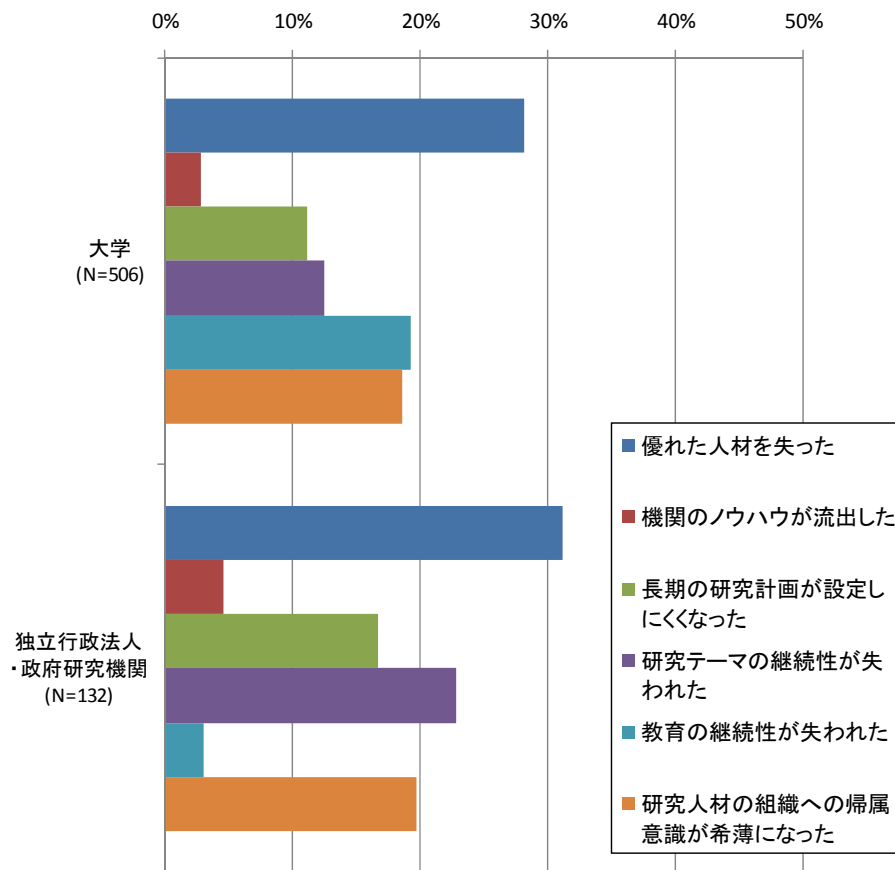
研究者の移動経験数



人財流動化のメリット・デメリット



機関のメリット



機関のデメリット

出典: 文部科学省 科学技術政策研究所 第3期基本計画フォローアップ調査研究「科学技術人材に関する調査」

流動のメリット

- 優れた人材を確保できた
- 現在所属する研究人材のやる気を引き出した
- 新しい研究分野を開拓できた
- 新しい文化を取り入れることができた
- 業績が振るわない研究者の転出が促進された(周囲に流動化するポストができた)

